

収穫の喜び実感

体験例会で『地産地食』

あすなるクラブ

中小企業経営者らの異業種交流組織、経済研修団体釧路あすなるクラブ(宮崎博好会長)は28日、山花RV農園で野外体験例会を開き、地産地消を実際に体験した。

同クラブでは、今年の年間テーマを「挑戦釧路」として、豊かな街、物、人づくりを目指し、研修を続けている。今回の例会は「体験チャレンジ『地産地食』」として、農作業や収穫した野菜の調理に挑戦。体験を通じ、自然や健康について理解を深めた。

この日の例会には、会員20人が参加。会員らは、NPO法人地域生活支援ネットワークサロンの伊倉起子さんから同農園で育てられている野菜についての説明を聞いた後、ジャガイモや玉ネギ、枝豆を収穫した。



無農薬で育った野菜を収穫する釧路あすなるクラブの会員ら

収穫に訪れている。会員らは、普段なかなか目にする機会が少ない野菜の生育に子どものように目を輝かせながら収穫作業に汗を流し、収穫後は山花温泉リフレでピザに加工し、釧路の大地の恵みに

舌鼓を打った。

(道永竜命)

同農園は同NPO法人が、農薬を一切使用しない野菜栽培に取り組んでおり、ミニズのある土で40種程度の野菜が、自然のまま育てられている。そのため、野菜が本来持っている甘さや香りが豊かで、市内の子どもたちも毎年